

家庭ごみ有料化制度における プラスチック製容器包装類の取り扱いについて

(比較検討表)

	対象品目とする場合（有料）	対象品目外とする場合（無料）
発生抑制	・循環型社会形成に向けた取り組みの優先順位の高い発生抑制の効果が期待できる。（簡易包装や詰め替え商品の選択の促進等）	・資源物として分別すれば無料となるため、発生抑制の効果が低い。
分別促進	・資源物として分別しても手数料負担があるため、分別排出の動機づけが弱まるおそれがある。 ・小売店における店頭回収（ペットボトル、食品トレイなど）や公共施設での拠点回収（ペットボトル）の利用が促進される。	・資源物として分別すれば無料となるため、分別促進の効果が期待できる。 ・資源化に適さないもの（汚れのあるもの等）や容器包装以外のプラスチックごみが、無料である資源物の中に混入して排出されやすくなるおそれがある。
市民の受容性	・市民の手数料負担が増加し、資源物の分別に取り組んでいる市民の受容性が低い。	・分別に取り組む市民の理解が得られやすい。
その他	・手数料負担を減らすために、ペットボトルをつぶすなど、体積を小さくして排出することが促進され、収集効率の向上が期待できる。	

【参考】現在の家庭ごみの分別区分と出し方

分別区分		出し方	収集場所
ごみ	① 燃やすごみ	指定袋	ごみ集積所
	② 燃やさないごみ	指定袋	
	③ 有害ごみ	透明の袋	(戸別収集)
	④ 大型ごみ	事前申込み・大型ごみ処理券を貼る (有料)	
資源物	⑤ ビン	指定袋又は透明・半透明の袋	ごみ集積所
	⑥ カン	指定袋又は透明・半透明の袋	
	⑦ 新聞	品目別にひもで縛る (雑がみは紙袋で排出可)	ごみ集積所 ※紙パックは拠点回収有
	⑧ 雑誌		
	⑨ ダンボール		
	⑩ 紙パック		
	⑪ 布類	透明・半透明の袋	
⑫ プラスチック製容器包装類 (ペットボトルを含む)	指定袋	ごみ集積所 ※ペットボトルは拠点回収有	